

# 地域福祉重点事業助成金

## たかしまの町を良くする

## 助成金交付のてびき

(平成30年度版)

この助成金は、高島市民の皆様にご協力いただいた共同募金が財源です。



【お問い合わせ先】

### 高島市共同募金委員会

事務局 社会福祉法人高島市社会福祉協議会内

高島市勝野 215 番地 高島市役所高島支所 2 階

☎ 0740-36-8220 FAX 0740-36-8221

【お近くの社協窓口はこちら】

地域	施設名	住所	電話
マキノ	はあとふるマキノ	マキノ町新保 1095 番地	27-1700
今津	えがお屋本舗上弘部店	今津町上弘部 438-2	28-7525
朽木	はあとふる朽木	朽木市場 593 番地 1	38-8000
	寄り合い処「くつつき」(金曜のみ)	朽木市場 324 番地	—
安曇川	安曇川老人福祉センター	安曇川町田中 459 番地	32-1137
高島	高島市役所高島支所 2 階	勝野 215 番地	36-8220
新旭	新旭総合福祉センター やすらぎ荘	新旭町北畑 45 番地 1	25-5730



# 共同募金助成金 交付のてびき

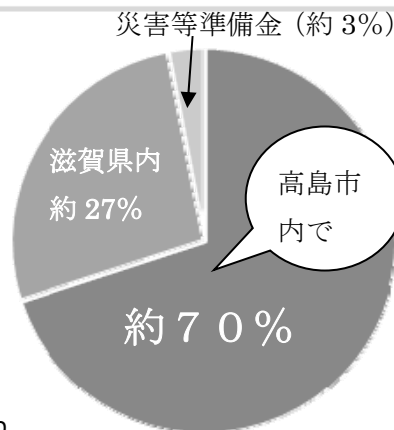
【たかしまの町を良くする助成金】

## 目次

◆たかしまの町を良くする助成金		
1. 助成の目的	.....	2
2. 助成対象の団体	.....	2
3. 助成の対象となる事業	.....	3
4. 助成の額	.....	3
5. 応募方法	.....	3
6. 審査方法	.....	3
7. 交付決定および助成金交付	.....	4
8. 実績報告	.....	4
9. 助成の明示	.....	4
10. 助成金の返金・事業計画の変更	.....	4
11. 共同募金運動への参加	.....	4
◆申請書等の記入例		
申請書（様式1）	.....	5～8
請求書（様式2）	.....	9
実績報告書（様式3）	.....	10～14
◆付録	.....	15

●高島市でご協力いただいた赤い羽根共同募金は、  
約70%は、高島市内の福祉活動に  
約27%は、滋賀県内の広域的な福祉活動に  
約3%は、万が一の災害に備えています。

●高島市で集められた募金の約70%は、市内の多くのボランティアグループや福祉関係団体へ助成金として交付し、活動を応援しています。また、多くの人たちを協議して策定した住民のための「高島市地域福祉推進計画」に基づいた活動にも使われています。詳しくは、高島市共同募金委員会事務局までお問い合わせ下さい。



地域福祉重点事業助成金  
たかしまの町を良くする助成金について

## 1. 助成の目的

高島市共同募金委員会は、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりを進めることを目的に、「高島の町を良くしよう」と、高島市民が主体的に取り組む福祉活動を広く支援することを目的に助成します。

## 2. 助成対象の団体

地域活動や地域貢献活動をおこなうグループまたは団体等（法人格を問わない）で高島市内に事務所もしくは活動拠点を有する団体。

ただし、①～⑤の要件をみたしているグループまたは団体に限ります。

- ①事業主が非営利であること
- ②事業が公益性を有すること
- ③特定の企業、政党、宗教団体等から独立して活動していること
- ④事業の実施に必要な資金の確保が困難であること
- ⑤当該事業について公的助成を受けていないこと（個人は対象になりません）  
（具体的には、福祉関係団体、ボランティアグループ、区・自治会、保育園、幼稚園、子ども園、学校、社会福祉法人、NPO法人等）



Q：どんな活動をすればいいの？

A：高島市の皆さまには、「たかしまの町を良くしたい。」「たかしまの町が良くなってほしい。」という気持ちを込めて共同募金にご協力いただいています。

そんな気持ちのつまった共同募金を財源にしておこなう事業です。

「赤い羽根共同募金に是非、応援してほしい」と、皆さん（グループ、団体）で協議して申請して下さい。

具体的には地域の課題解決（例えば、見守り活動や生活支援、障がい者の社会参加・交流事業、子育て支援など）に取り組む事業ですが、遠慮なく、ご相談ください。

地域で暮らす私たちが、私たちのために、  
地域で集めて、地域で活用する赤い羽根共同募金だから、

**「じぶんの町を良くするしくみ。」**です。

赤い羽根共同募金キャッチフレーズ

### 3. 助成の対象となる事業

①市内で、地域福祉を推進する「たかしまの町を良くするための事業」とします。（活動期間：平成30年4月1日から平成31年3月31日）

ただし、次の事業は対象にしません。

- ・地域福祉的な性格が明らかでない事業
- ・政治、宗教、組合の運動の手段や営利のためにおこなう事業
- ・助成による効果が期待できない事業
- ・他の助成金や補助金との重複や公的補填する事業

②団体の構成員のみを対象とした慰労会や忘年会は助成対象外です。

### 4. 助成の額

①「たかしまの町を良くしようとする活動」の総事業費の10分の10。

ただし、上限10万円（1千円未満は切捨て）

②総事業費とは、助成を受けておこなう事業の費用の総額です。

団体の運営費には助成できません。

助成対象となる経費 (事業に直接使う費用)	助成対象とならない経費
事業の実施に直接必要な経費（講師謝礼、講師旅費、食糧費（材料費に限る）、消耗品費、印刷製本費、通信運搬費、保険料、使用料及び賃借料、物品購入費、会議費、その他会長が認める経費	団体運営費 (事務所家賃、光熱水費、人件費等) 事務機器備品（パソコン、プリンター、プロジェクター、デジタルカメラなど）

### 5. 応募方法

①所定の申請書（2枚）に必要事項を記入のうえ、高島市共募事務局あるいは、社協窓口にて平成30年7月20日（金）までに提出してください。

②申請書等は、社協のホームページよりダウンロードできます。

### 6. 審査方法

①審査委員会で公開面接型審査のうえ、助成先及び助成金額を決定します。

②公開面接型審査は、活動内容や活動への思いを審査委員の前で話していただきます。（1団体10分程度）

③公開面接型審査会は、8月上旬に開催を予定しています。

詳細については、助成金申請された団体にご個別にお知らせします。

※審査委員会とは、住民の声を公正に代表する者で構成され、共同募金の助成の審査を行う機関です。

## 7. 交付決定および助成金交付

- ①平成30年8月中旬に、グループ代表者へ審査結果を文書により通知します。
- ②平成30年8月20日（予定）に指定口座に振込みます。

## 8. 実績報告

- ①実績報告期限の平成30年3月22日（金）、もしくは事業が終了した時のいずれか早い方で提出してください。（3月22日時点で事業が終了していない場合は事務局までご連絡ください。）
- ②提出時には、活動がわかる写真と領収書の添付が必要です。
- ③実績報告書等は、社協のホームページよりダウンロードできます。

## 9. 助成の明示

- ①事業の実施にあたっては、共同募金を財源にした事業であることを案内チラシ等に明示してください。
- ②共同募金のマークを付録として本てびきに添付しています。ご活用ください。

## 10. 助成金の返金・事業計画の変更

- ①何らかの理由で事業が実施できない場合
  - ②計画していた事業を変更する場合
- ※①②が発生する場合は、高島市共募事務局まで連絡してください。

## 11. 共同募金運動への参加

赤い羽根共同募金運動にご理解をいただき、共同募金運動にご参加ください。街頭募金運動等のボランティア募集は、広報紙「しふくのふくし」でご案内します。



平成30年 7月 20日

## 平成30年度高島市共同募金委員会助成事業申請書

地域福祉重点事業 「たかしまの町を良くする助成金」

高島市共同募金委員会 会長 様

申請者	住 所	〒520-1121 高島市勝野 1234	
	団体名	(ふりがな) 〇〇区	
	代表者	(役職) 防災リーダー	(氏名 ふりがな) 〇 〇 〇 〇 印
	電 話	090-1234-5678 (日中に連絡が取れる番号)	
申請者以外に連絡を希望される場合のみ、ご記入ください。	連絡先〒	電 話	
	氏 名	携帯電話	

### 1. 事業計画

事業名	事業の内容や目的を、端的に表すわかりやすい名前をつけて下さい。 <b>〇〇地域防災力向上事業</b>
事業の目的	解決したい地域福祉課題をご記入下さい。 <b>防災意識の向上と継続を目指し、〇〇区・△△区・□□区の3区役員、3区民が一丸となって取り組みを進める。</b>
事業内容	事業内容を全体的に簡潔にまとめて下さい。 ① 防災こんだん会実施 3区の役員・区民で〇〇地域の防災や災害で気になることなどについて意見交換する。 ② 防災事業（HUG等）と炊き出し訓練の実施 ・高島市災害ボランティア活動連絡協議会の防災に関する出前講座でHUGなどの体験型事業を実施する。 ・炊き出し訓練の後、防災ベンチの完成披露を兼ねた3区民交流を実施する。 ③ かまどベンチの作成 区民の手作りでかまどベンチを作成し、炊き出し訓練や区民の防災啓発の象徴として活用する。

参加予定人数	のべ  150人	主な活動場所	〇〇地域交流センター・草の根広場
--------	----------------	--------	------------------

期待できる効果と今後の展望

〇〇地域の防災力の向上と助け合いの意識の向上を目指す。  
次年度以降も継続して事業を実施し、〇〇地域の広域的な防災活動として定着させたい。

事業を進めるうえで、社協や共募に期待する支援や共有しておきたいことをご記入下さい。

事業仕組みづくりの助言  
防災出前講座等の実施の際の協力

2. 事業予算書

※通常の年間予算全部ではなく、**本事業に係る経費のみ**をご記入下さい。

※A（収入合計）とB（支出合計）は同額になります。

科 目	金 額 (円)	積 算 内 訳
収入の部		
共同募金助成金	70,000	たかしまの町を良くする助成金
<b>参加費</b>	8,000	@100×80人 (大人のみ)
収入合計	78,000	A
科 目	金 額 (円)	積 算 内 訳
支出の部		
<b>会議費</b>	3,000	茶菓子等
<b>消耗品費</b>	20,000	方眼紙、ペン等消耗品費 (防災こんだん会・防災事業)・紙・インク代
<b>食材料費</b>	5,000	炊き出し訓練時食材料費
<b>材料代</b>	50,000	かまどベンチ作成費 (セメント・レンガ等)
支出合計	78,000	B

AとBは同額になります



3. 団体の概要

団体の目的	〇〇地域の防災に関する意識向上の推進を目指す。
主な活動	防災訓練やポンプ作動訓練等の〇〇地域に関する防災事業全般
団体としての 問題点や課題	1年ごとで任期が終わる区役員が担当していることから、事業を継続して実施して実績としての成果を積み上げていくことが難しい。

構 成 員 名 簿 (既存の名簿を添付していただいても結構です)

1	別紙のとおり	1 6	
2		1 7	
3		1 8	
4		1 9	
5		2 0	
6		2 1	
7		2 2	
8		2 3	
9		2 4	
1 0		2 5	
1 1		2 6	
1 2		2 7	
1 3		2 8	
1 4		2 9	
1 5		3 0	

※30名を超える場合は、別紙（様式問わず）で報告してください。

### 高島市共同募金委員会助成金請求書

高島市共同募金委員会会長 様

申請者	住所	〒520-1121 高島市勝野 1234	
	団体名	(ふりがな) 〇〇区	
	代表者	(役職) 防災リーダー	(氏名 ふりがな) 〇〇〇〇 印
	電話	090-1234-5678 (日中に連絡が取れる番号)	
申請者以外に連絡を希望される場合のみ、ご記入ください。	連絡先〒	電 話	
	氏 名	携帯電話	

下記のとおり高島市共同募金委員会助成金（助成金名：たかしまの町を良くする助成金）を請求します。

請求金額	70,000	円
------	--------	---

振込口座（個人の口座には振込できませんので、団体で開設した口座を指定してください。）

金融機関名 △ △ 銀行 農協	支店名 □ □ 支店	種類種別 普通 当座)
口座番号 012345	口座名義 【フリガナ】 マルマルク 〇〇 区	

※指定金融機関がゆうちょ銀行の場合は、金融機関から振込をする場合の支店名・口座番号を記入してください。

※口座名義等の間違いが無いよう、また、必ずフリガナもご記入下さい。

口座確認のため、通帳見開きページのコピーを貼付してください。  
(口座名義がカタカナで印字されているもの)

## 貼付欄

## 平成30年度高島市共同募金委員会助成事業実績報告書

地域福祉重点事業 「たかしまの町を良くする助成金」

高島市共同募金委員会 会長 様

報告者	住 所	〒520-1121 高島市勝野 1234	
	団体名	(ふりがな) 〇〇区	
	代表者	(役職) 防災リーダー	(氏名 ふりがな) 〇 〇 〇 〇 印
	電 話	090-1234-5678 (日中に連絡が取れる番号)	
報告者以外に連絡を希望される場合のみ、ご記入ください。	連絡先〒	電 話	
	氏 名	携帯電話	

事 業 名	〇〇地域防災力向上事業
助成決定額①	<u>70,000</u> 円 <small>助成金額を記入してください。</small>
精算額②	<u>70,000</u> 円 <small>助成金額の内、支出した額を記入してください。</small>
差 額	① — ② <u>0</u> 円 <small>差額が生じた場合は返金になります。</small>

**【添付書類】**

- 事業報告書
- 会計報告書
- 領収書 (コピー可)
- 活動がわかる写真・広報物等

※ 提出期限 平成31年3月22日

(3月22日時点で事業が終了していない場合は事務局までご連絡ください)

## 事業報告書

事業の内容とその実施方法につき実施の体制も含めて簡潔に記入してください。

※実施日、実施回数、参加者数など、実施された事業の内容がわかるように記入して下さい。

### 〇〇地域防災力向上事業 準備会議

5月〇日 準備会議

役員18名 災害ボランティア連絡会 3名

8月〇日 最終打合せ

役員17名 災害ボランティア連絡会3名

### ①防災こんだん会

〇月〇日 3区の防災への取り組み状況共有

参加者26名

〇月〇日 〇〇区の事例報告から防災を考える

参加者28名

〇月〇日 広域的取り組みの必要性を考える

参加者30名

### ②防災事業

7月〇日 事前勉強会（防災出前講座）

役員18名 災害ボランティア連絡会3名

参加者25名

11月〇日 防災訓練（炊き出し・区民交流）

参加者83名 子ども8名 役員18名

災害ボランティア連絡会3名

### ③かまどベンチづくり

9月〇日、〇日 防災ベンチづくり住民全員に声をかけ実施

（2日間 のべ50名）

※これをもとに、助成事業の内容を公開しますので、全体的に簡潔にまとめてください。

事業の成果（この事業をとおして、感じたことや嬉しかったことなどをご記入下さい。）

- 一つの区の課題を3つの区の課題として皆で話し合い、共有することができた。
- かまどベンチづくりや炊き出し訓練を通して、3区が連携して取り組むきっかけができた。
- 助成を受けて活動したことで、共同募金の意義を知り、考えるきっかけができた。

事業の課題（今後の課題）

- 一部の役員の負担にならないように、取り組みへの理解や協力を住民に広く呼びかけていく。

**会計報告書**

科 目	金 額 (円)	積 算 内 訳
収入の部		
共同募金助成金	70,000	たかしまの町を良くする助成金
<b>参加費</b>	10,400	@100×104人 (防災訓練)
収入合計	80,400	A
科 目	金 額 (円)	積 算 内 訳
支出の部		
<b>会議費</b>	3,000	茶菓子等 (@500×6回)
<b>消耗品費</b>	20,000	方眼紙、ペン (防災こんだん会・防 災事業) コピー用紙、インク第
<b>食材料費</b>	7,400	炊き出し訓練時食材費 (カレーライス)
<b>材料代</b>	50,000	かまどベンチ作成費 (セメント・レンガ等)
支出合計	80,400	B

AとBは同額になります

※A (収入合計) とB (支出合計) は同額となります。

※領収書のコピーを提出してください。

領収書（コピー可）貼付用紙（領収書をここへ貼ってください。）

貼 付 欄